

投資者の皆様へ

2025年4月7日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 311 号
 加 入 協 会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

4月7日の弊社ファンドの基準価額下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
 以下のファンドの基準価額が4月7日に大きく下落しましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

1.基準価額及び騰落率(4月7日)

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
SBI小型成長株ファンド ジェイクル	10,031 円	▲987 円	▲9.0%
SBI日本小型成長株選抜ファンド(愛称:センバツ)	12,814 円	▲1,261 円	▲9.0%
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト	35,799 円	▲2,928 円	▲7.6%
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト(年2回決算型)	17,654 円	▲1,443 円	▲7.6%
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ	45,702 円	▲3,526 円	▲7.2%
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(年2回決算型)	15,109 円	▲1,166 円	▲7.2%
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ<DC年金>	17,202 円	▲1,333 円	▲7.2%

2.基準価額下落の主な要因

本レポートに記載のファンドに関する下落要因及び今後の見通しは以下の通りです。

(下記は、助言会社 エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社のコメントです。)

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

日本の株式市場は週末を挟む4日、7日と急落し、日経平均は一時3万1千円を割り込む場面もありました。この背景は言うまでもなく、事前予想を上回るトランプ大統領による相互関税の発表を受けて、先行きの不安感からパニック売りともいえる状態になったと言えます。

このような相場環境下で弊社ファンドの基準価額も大きく調整しました。しかし、当ファンド保有銘柄の海外売上高比率は20%未満(ブルームバーグのデータに基づいて試算)となっており、今回の相互関税が組入企業の業績に与える直接影響は限定的となっていることをお伝えします。関税引き上げの影響について冷静に捉えるために、もう少し踏み込んで考えてみます。まず、関税引き上げの影響を最も大きく受けるのは、米国内で競合相手が多く関税引き上げによる価格上昇が、その製品の競争力を著しく損なう企業です。しかし、保有銘柄の多くは、このような製品を米国に供給しておらず、世界的にも圧倒的な技術力・競争力を持つ企業、あるいはオンリーワンの企業です。

今回の関税引き上げや、貿易戦争の激化が景気や業績に与える影響については、企業によって提供している製品・サービスが様々なので、面談やインタビューを通じて個別に深掘りして確認していますが、現在のところ自社の業績について悲観的になっている経営者はいらっしゃいません。この点については今後も留意しながら確認を進め、必要であれば迅速に投資判断に反映してまいります。

過去に起きた数々の危機を振り返りましても、こうしたパニックの時こそ狼狽えずにしっかりと見極めることが、最も肝要と考えています。もちろん、この米関税強化が日本を始め世界全体の経済に与える影響については未知数の部分も多く、今後の景気動向を注視する一方で、組入企業とは個別直接面談にて間接的影響も含め議論を深掘し、投資判断につなげてまいります。

引き続き個別直接面談調査を実施し、ベストなポートフォリオを構築してまいります。今後もより一層のご信頼を頂ければ幸いです。

以上

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.85%(税抜 3.5%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.585%(税抜 2.35%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。

また、上記上限を超える場合があります。

● その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。